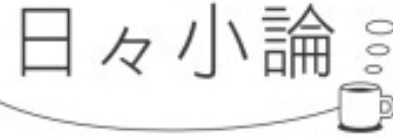


文字がつかまらない

文化部長 石崎勝伸



神戸大出身の直木賞作家で、本紙「随想」も執筆した伊与原新さんの人気作品に「宙わたる教室」がある。舞台は東京の定時制高校。年齢も異なり、それぞれに事情を抱える生徒たちが科学部を結成、壮大な実験に挑む。実話に着想を得た物語だ。

生徒の一人、金髪にピアスの21歳の岳人は抜群の計算能力を持つが、文章題は大の苦手。目で追う文字が①つかまらねえ」とふてくされる。ある日、主人公の担任教師がデジタル教科書でフォント（書体）を変えた文章を見せると「読める」と驚き、②親からもボンコツ扱いされてきた日々を思い泣き出す。

岳人は読み書きに困難がある学習障害「ディスレクシア」だった。知能の発達に遅れはないが、音と文字を結び付ける力が弱かったり、文字の形をうまく認識できなかったりする。そのフォントは線の太さが均一で、

濁点なども大きめ。ディスレクシアの人も読みやすいよう開発された。彼は「そんな簡単なことで」と絶句する。

日本では35人クラスなら2、3人はディスレクシアとされる。だが単に「読書や書き取りが苦手」「やる気がない」と周囲に思われ、大人になるまで気付かれない場合も多い。

開発されたフォント「UDデジタル教科書体」はパソコンの基本ソフト「ウィンドウズ」に搭載され、教材、自治体文書での活用も広がる。文章の音声読み上げ機能も有効だ。大学入学共通テストで申請すれば、問題用紙の拡大や試験時間の延長など受けられる配慮も進む。

だが、そうした支援も親や教師らの知識、理解がなければ、本人につながらない。周囲の気付きがその子の人生を大きく左右するのは、小説の中だけではない。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 ディスレクシアとはどんな障害かを、本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

2 傍線部①を4文字で言い換えましょう。

--	--	--	--

3 傍線部②とは具体的にどう思われていたのですか。本文中から2つ抜き出して書きましょう。

4 学習障害の支援に必要なことを、本文中から10字程度で抜き出しましょう。

--

UD デジタル教科書体

*

一般的な教科書体

ふさ追令
ふさ追令

NIEワークシートのこたえ（2025年5月26日公開）

◆ワークシート「文字が読めない学習障害(保健体育)」 2025.5.23付 朝刊 9面 解答

- 1 知能の
- 2 読めない（読めねえ）
- 3 読書や書き取りが苦手
やる気がない（順不同）
- 4 親や教師らの知識、理解